科目名	育成支援看護学特論Ⅱ（Advanced Study of Developmental Child Nursing Ⅱ）			科目コード	M210
選択区分	選択	履修時期	1後	単位数（時間）	２単位（30時間）
担当教員	豊田　ゆかり・枝川　千鶴子・仲渡　江美			関連DP	看①③⑤
授業概要	乳幼児期から成人に至る発達研究を理解し、小児看護研究を追及するための方法を教授する。				
授業目標	子どもの成長や発達及び家族を含めた環境を理解し、その知識を基盤として、子ども特有の健康問題を解決するために必要な知識を学習する。特に、子ども（個人）・家族・社会の関連性を視野に入れた学習を行う中で、理論と実践の関連性や今日的な課題について研究的視点をもって探求する。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内　　容	担当者
1	ガイダンス	ガイダンス　これからの講義内容と学習の方法	豊田ゆかり
2	乳幼児期の発達（1）	乳幼児研究の現在と育児 －行動学・脳科学からの示唆－	仲渡江美
3	乳幼児期の発達（2）	幼児期のコミュニケーション能力とことばの発達 －心の理論と自己理解の発達－	
4	成人期の発達（1）	ワークライフバランスと成人期の発達 －父親・母親が育つ条件－	
5	成人期の発達（2）	成人した子どもと親との関係 －関係マネジメント力－	
6	健康障害と看護１	健康障害をもつ子どもと家族の看護 －NICUにおける低出生体重児の看護－	枝川千鶴子
7	健康障害と看護２	健康障害をもつ子どもと家族の看護 －在宅における医療的ケア児の看護－	
8	健康障害と看護３	健康障害をもつ子どもと家族の看護 －子どもと家族の自立支援－	
9・10	文献クリテーク	子どもと家族に必要なケアに関する文献クリティーク	豊田ゆかり
11・12	コーディネイトとマネジメント	医療的なケアが必要な子どものライフイベントに応じた必要な支援 －コーディネイト・マネジメント－	
13・14	課題を整理するための理論理解	家族の課題に関する実践場面を看護理論を用いて理解する －臨床場面（経験）を振り返る－	
15	理論活用	実践の場における課題解決における理論活用を探る	
成績評価方法		プレゼンテーション（30%）課題レポート（70%）をもとに総合的に評価する。	
必携あるいは参考図書・文献		参考文献 ①山口真美・金沢　創（編）：乳幼児心理学,放送大学教材,　②岡本祐子・深瀬裕子（編）：エピソードでつかむ生涯発達心理学,ミネルヴァ書房,　〔仲渡担当分〕 ①　佐藤栄子編,中範囲理論入門（第２版）,日総研,　②ﾊﾟﾄﾘｼｱ・R・ｱﾝﾀﾞｰｳｯﾄﾞ著,南裕子監訳：看護理論の臨床活用：日本看護協会出版会,　③正木治恵他：看護実践の問題解決のために（ナーシング・プロフェッション・シリーズ看護理論の活用：医歯薬出版　④豊田ゆかり他：医療的ケアが必要な子どもとその家族のQOL向上を実現するマネジメントに関する調査　研究完了報告書　⑤萱間 真美:リカバリー・退院支援・地域連携のための ストレングスモデル実践活用術,医学書院,2016〔豊田担当分〕 ①　小児看護領域の看護業務基準：公益社団法人日本看護協会,　②ｸﾞﾗﾃﾞｨｽL.ﾊｽﾃｯﾄﾞ,ｼﾞｪｰﾑｽH.ﾊｽﾃｯﾄﾞ（著）藤村龍子、樽井正義（監訳）臨床実践のための看護倫理〔枝川担当分〕	
授業時間外の学習について		授業開始時に実施担当教員から説明する。	
関連科目		209 育成看護学特論Ⅰ　227　特別研究Ⅰ　228　特別研究Ⅱ	
備　　考		育成支援看護学特論Ⅰの履修を前提とする	